

## 長野市総合計画審議会作業部会 第6回産業部会 議事録(要旨)

月日 平成18年1月30日(月)

時間 午後1:30～

場所 第三委員会室

<1月16日の審議会資料の説明(基本構想骨子)>

部会長; 審議会資料は説明に留めるが、質問はないか。

部会員; 長期ビジョンは市長が代わっても計画が担保され、継続される必要がある。10年継続して取り組みれば色々な面で変わっていく。

部会長; 政策など多少の変更はあるだろうが、市民に向けた計画であり大筋は変わらない。

事務局; 基本構想は議会で議決されるし、基本計画はその構想に沿ったものになる。

<基本構想「施策の大綱(素案たたき台)」産業分野について>

部会長; 次回の部会で案としてまとめるので、今日は意見をいただきたい。まちづくりの方向性から順にお願いしたい。

(まちづくりの方向性)

部会員; 北信の有効求人倍率が改善されず、長野に魅力がないのか。かつては先人も技術もあったが、今の時代には起業家精神やハングリーさも必要。人間臭さを織り込む言葉はないか。創業や起業などの表現があるといい。

部会員; 方向性であり概要となるところなので、これでいいのではないか。

(施策の視点)

部会員; 長野らしさは何かと考えてみたが、長野から都会などに出ていった人を、また呼び戻すにはどうしたらいいか。そこに長野らしさがあるのではないか。

部会員; 長野らしさの一つは善光寺のお膝元の価値観、それに基づく歴史や文化ではないか。気候や風土の違いもある。皆で長野らしさを出し合ってみるとイメージが出てくるのでは。それらのキーワードで訴えるとインパクトがある。

部会員; 地域産業のブランド化というのは抽象的ではないか。ブランドを作るのは人。中心市街地にマンションが多くできてきたが、長野に越してきて善光寺門前に住み、川中島の畑でブランドの桃を作るといのように、住み方、働き方をブランドにできるのではないか。暮らし方や行動をブランド化できればいい。ブランド化の言葉自体はいい。

部会長; 構想で細かな表現は難しいが、注釈に加える方法もある。

部会員; 「既存産業の高付加価値化」はこれでいいのでは。構想の一つ下のレベルで具体的な内容を表現していけばいい。

部会員; 三つの案の中では案3が分かりやすい。

部会員; 「取組」という言葉が前向きに感じるのでそれを入れたい。

事務局；案3の表現で、「社会や経済の変化に対応した産業の高付加価値化への取組」でいかがか。

部会員；産業の高付加価値化とは何を指すのか。既存でやっている人や事業だけを対象にしている感じがする。新しい人の取組をどう捉えるか。

事務局；例えば農業なら、生産品や流通を含めて付加価値を高める個々の取組を重ねながら農業全体で産業としての価値を高めていくことを意図している。また、起業の要素については、「産業を支える人づくり」の中で検討する方法もある。

部会長；では案3としたい。

#### ( 1 賑わいと活力を生む観光・コンベンションの推進 )

部会員；善光寺、松代、戸隠だけでなく、合併したところを全部入れてはどうか。読んだ時に「うちの地区が入ってない」と言われるのでは。

専門部会員；この三箇所は観光客が群を抜いている。

専門部会員；長野に来られる方の視点で考えると、この三箇所は長野を代表していると言える。他の地域も観光の取組はしていくが、この場はこれでいいのでは。他地区は「など」に含まれる。こちらの都合で考えるのではなく、来ていただく方の目線で考えることが必要。

部会員；他も入れた方がいいと思ったが、説明に納得した。

#### ( 2 活力ある農林業の推進と中山間地域の活性化 )

全員；異議なし。

#### ( 3 特色ある産業の集積と工業の高付加価値化 )

部会員；産学行連携の目的は何かというと、産業の構造力を強くすること。目的を前面に出して説明したほうがいい。目的があって、それをどうするという関係に。

事務局；最初は産学行連携に補足文を付けたが、文章が長くなるので注釈にした。

部会員；注釈は読まれない。注釈は注釈としても、本文の中で読んだときに分かりやすくすべき。

部会員；今回注釈がついて分かりやすくなったと感じる。

#### ( 4 魅力と賑わいあふれる商業の振興 )

部会員；まちづくりとの連携とは何か。

事務局；中心市街地の再開発や景観の整備に加え、住み、働くといった色々な機能との連携や一体的な取組を意識した。

部会員；ならば連携ではなく、マッチングや調和、一体というような表現ではないか。

#### ( 5 人材の育成と雇用機会の確保 )

部会員；少子化の中で託児など女性が働きやすいようにする必要があるのでは。

事務局；福祉の分野で記載している。

部会員；高齢者の働く場所が足りない。色々な人材がいるので、そういう場を創出してほしい。

部会員；「女性等の就業を支援」の「等」は何か。

専門部会員；障害者や生活弱者がある。

部会員；女性等というと、順番的にもあまり重要でないような感じがある。等はいらないのでは。入力や編集など障害者が持つ職能や技術がある。それを労働力として活かすことが必要では。

事務局；福祉分野とも調整したい。

部会員；他の分野との関連を示した方が分かりやすいのでは。

部会長；色々意見が出たが、本日の意見を参考に事務局で再度検討をお願いしたい。

<基本構想「施策の大綱（素案たたき台）」行財政運営関係の資料について>

部会員；小さな政府とは何を意味するか。

事務局；本当に必要なサービスを継続して提供していくために、負担や役割を見直すとともに、行政を効率的に行うこと。

部会員；言いたいことは分かるが、「小さな市役所」ではイメージしにくい。

部会員；支所も小さくするのか。効率的という理念はいいが、支所を小さくすると都市内分権が動き出したときに困る。

事務局；支所を小さくすることは考えていない。市民サービスが落ちないように効率化を進めていく。

部会員；スリム化に加え、業務のIT化を加えてはどうか。

事務局；前回部会まで示していた「基本計画に向けた要素」には入っている。素案では「行政課題に即応できる組織体制」に含まれるが、基本計画段階で具体的に記載したい。

部会長；都市内分権の推進という言葉は入らないのか。それがあれば支所の充実が分かりやすい。

事務局；都市内分権は現在審議会で検討しているところ。「地域の個性をいかした住民自治」の中に考え方は入っている。

部会員；「小さな市役所」は小さくて動きが鈍い感じを受ける。

<その他>

事務局；（部会間での検討課題の調整が必要な事項について、審議会での問題提起と今後の取り扱い案を説明。…他の部会で議論することが望ましい等の項目は、今後審議会で調整するが、当面は今の担当部会において引き続き検討していく。）

事務局；（次回日程の説明…次回は2月24日（金）第三委員会室にて。構想素案の部会案の決定をし、基本計画に向けた議論に入る。）